

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	YCCもこもこ香里園南教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 15日		～ 2026年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	2026年 2月 15日		～ 2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理師、教員、保育士、社会福祉士等、多様な資格を有する専門職が在籍し、多角的な視点から児童や家族の支援が可能な点。	多職種連携を意識しており、さまざまな視点からの意見を忌憚なく発信できる職場環境づくりに取り組んでいる。	保護者にも、どのような専門性を有する職員が在籍しているかを積極的に発信し、より安心して事業所をご利用いただけるようにする。
2	個別担当制のため、利用児童一人ひとりの状況やニーズに応じたオーダーメイドの支援が可能である点。	児童が好きなものや、興味のあるものを中心に、「その子だけ」のオリジナルの活動プログラムとなっている。内容に関しては、ミーティングを通して全体で共有し、意見交換を行っている。	当事業所のみでなく、家庭や学校でも当事業所でできたことができるようになるため、より家庭や学校との連携を強化しながら取り組んでいく。
3	施設的环境整備がされており、清潔で安全な空間で活動ができる点。安全マニュアルや、感染症対策等も整備されている。	毎朝の清掃、環境整備等に加え、活動時間ごとに消毒を行っている。	環境整備の重要性を職員間で共有し、より安全な施設となるよう努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない点	地域との接点を求めない利用者が多く、現状積極的に活動を企画しておりません。	地域交流を希望する利用者が交流できる機会の創出とそのため地域の社会資源を把握する、職員が交流を持つなどに努める。
2	送迎サービスが無い点	送迎がないことで、常に十分な人数の職員を配置することができている。また、時間割制をとっているため、送迎サービスを行うことが難しい。	自力通所のサポートを行うなど保護者の送迎負担を軽減する支援に努める。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		YCCもこも香里園南教室				公表日	2026 年 4 月 24 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		課題に取り組む机は空間をあけて、過密にならない配置としています。	適切なスペースでの活動ではあるが人数に応じて事故等が発生しないよう環境調整に引き続き努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		必要人員に加え、指導員及び、専門職を配置しており、より質の高い支援ができるよう努めています。	事務負担が多くならないよう、業務の効率化に努めます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		支援室の机は全側面を囲った形状となっており、視覚的に課題に集中しやすい工夫を行っています。	施設内はバリアフリー化されていますが、事業所が3階にあり階段のみの設置です。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動時間ごとに活動場所、使用物品の消毒や清掃を行っています。個室にソファを設置しリラックススペースを用意しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談をしたいときに利用できる相談室やクールダウン、一人になりたいときに使用できる場所も準備しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		支援における気付きは、全スタッフで共有のうえ、常によりよい支援につなげられるよう意識しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表は全利用者様に配布し意見をお伺いする機会をもうけています。また、随時ご相談を承っております。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の支援会議、毎月の振り返り会議など随時職員の意見等を把握し、業務改善につなげるようにしています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	法人として第三者による外部評価制度は導入していませんが、事業所内、事業所間で確認された課題の把握に努めています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員の資質の向上を目的として多様なテーマの研修を月2回程度実施しています。出勤日でない職員は、後日録画での学習も可能です。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所のホームページにおいて、支援プログラムの公表を行っています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		事前に保護者面接、児童面接を行い、利用開始後は、支援場面での様子を踏まえて最適な計画の策定に努めています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者、及び全職員が交流を通じた児童理解に努めており支援に反映するよう努めています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		原則、計画策定に関わる会議には職員全員が参加しており、計画策定後の支援においては、計画内容を共有して実施しております。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所共通のアセスメントツールを活用するとともに支援中の表情や態度も含めた行動観察に気を配り、アセスメントをしています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」は利用児童すべてに5領域を網羅した支援を実施しており個別支援計画に位置付けています。「家族支援」は重い保護者様からの相談に応じる体制を講じています。「移行支援」は、進路に関する情報提供や移行先との連携を行っています。「地域支援・地域連携」は家族や本人のニーズに応じて学校連携等を行っています。	地域連携をより積極的に行い、地域で暮らすという視点をもって支援の質の向上を目指していきます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		支援開始前に全職員でミーティングを行っており、個人、小集団の特性に合わせ、需要に繋がる支援となるように心がけています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		目標達成に向けて個別的なプログラムをたてていた。小集団活動は、毎回違う内容となるよう工夫をしています。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援計画では、学びを主とした個人支援と社会性を主とした小集団活動の取り組みを重視しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に全職員でミーティングを実施しており、活動の狙いを共有し連携した支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		担当児童についての気付きや、小集団活動での各児童の様子を共有し、次回以降の支援の検討を行っています。	事務作業などが多い時期だと振り返りが丁寧に行えないことがあるため、意識的に振り返りの時間をとるように努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回の支援の様子についての記録を必ずとっており、児童曹の確認後保護者にお渡ししております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画に沿った支援が行われているかについて定期的に保護者に評価をいただいています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、生活技能の向上を活動内容として取り入れています。	事業の形態上、地域交流の機会がほぼありませんが連絡協議会等とも連携し地域交流に努めます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児童の意思決定を尊重する支援に意識的に取り組み、意思が明確でない場合にも、できる限り意思を知るという態度で関わっています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、その児童の様子をよく知る担当指導員を帯同し参加するよう努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者の希望がある場合において、関係機関に関する情報提供、情報連携は積極的に行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者の希望がある場合において、学校等との情報共有や役割分担を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者の希望がある場合には連携に努めます。	現状、保護者の希望としてあまりないものの、今後積極的に交流をもつよう努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行する卒業児がいる場合において、情報提供を行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		市の児童発達支援センター主催の通所支援事業所連絡会に定期的に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域機関との交流をすべての児童と保護者が希望されているわけではないため、事業所として交流活動はしていません。	今後、希望者がいれば積極的に地域機関との交流に努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		市の通所支援事業所連絡会には定期的に参加しています。	市の自立支援協議会には参加できていません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎の際に、その日の活動の様子などを共有し、保護者からの相談にも柔軟に応じています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者同士の交流の場や保護者向けの講演会等の実施しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に事業所に係ること全般についての丁寧な説明を行っています。関連書類をいつでも確認できるようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援の中では常に子どもや保護者の意思を確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画の提示について丁寧な説明を心がけ、質問等にも真摯にお答えしたうえで、同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		子育てに関するあらゆる悩みに柔軟に応じています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		意見交換の場としての保護者会を定期的の実施しています。	きょうだい支援の交流の機会は現在ありませんが、今後希望があれば実施に努めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応について、契約時の説明で明示、行政の相談窓口の案内をしています。苦情発生時は組織的に対応する体制を整備しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		個人情報に配慮したうえで、活動内容をSNSやホームページで発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護法に則った個人情報保護方針を定め、契約時に保護者に対して説明の上同意を得ています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ルビ付きの契約書等の整備、図やイラストを用いた視覚支援等の配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		個人情報の関係もあり、地域との交流を狙いとした事業は馴染みにくいとありますが、行政主催の事業に参加しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し職員間で周知しております。定期的に避難訓練を実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		感染症、自然災害における各BCPを定めると共に、安全計画に基づく物品確認や研修実施を定期的に確認しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時の面談等で、身体状況についての確認を行っております。特別な対応が必要な場合の対応方法や連絡先を保護者と共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師から指示書がでている児童は現在いませんが、在籍の場合は、医師の指示書に基づいた対応に努めます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき、事業所の安全管理面について定期的な確認を行い、不備発見の際は速やかな対策を講じます。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時の対応について、契約時や防災教育の活動の際など定期的に家族に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット発生時は、書面にて報告書を作成し、事業所内で共有をしています。再発防止策について検討し実行しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止マニュアルの整備、職員への周知とともに虐待防止委員会を設置し、虐待防止・人権擁護研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束について、やむを得ず適用する場合について保護者に明示し同意を得ています。また、個別支援計画書にも記載をしています。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 YCCもこもこ香里園南教室

公表日 2026年4月24日

利用児童数 56

回収数 40

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	2		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	39			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	2		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	39			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39			1	こどもの気持ちを一番に考え、色々な工夫をしていただいて本当に感謝しております。	今後もお子様を第一に保護者様とも情報を共有しながら支援をさせていただければと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38			2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38			2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	6	8	12		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	40					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34	3		3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	40					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	39			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	22	7		11	まだ、参加したことがないため。	年に一回、保護者会を開催しています。就労や進学などテーマを絞った相談会や保護者同士の交流を目的としたプログラムを実施しています。きょうだい支援は今後取り組んでいきたいです。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	35	2	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	1	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	2	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34	3	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	38		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	2	4	まだ、もごもこさんで怪我等したことがないため そのような場面に遭遇していない	大きな事故や怪我はなかったが、軽微な怪我や体調不良はありました。その際は、速やかに保護者様と情報共有をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	40				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	38	2		当日気分が乗らないことはあり遅刻してしましますが、いつも楽しみにしています。	今後もお子様が楽しいと思えるような環境づくりやプログラム設定をしていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	38	2		いつも大変お世話になっております。活動の様子を読ませていただくのをいつも楽しみにしております。	今後もお子様とご家族のことを最優先に支援を継続していきたいと思っています。